

K S K Q

2021年度
第1号

オリーブだより

いつもですがみなさんお久しぶりです。変化は絶えず起こりますが、去年と比べると出来ることが増えてきました。この間のオリーブの様子をお知らせします。

オリーブ史上いちばん近場の大原一泊旅行と オリーブの大切にしていること

オリーブでは毎年一泊旅行に行っています。前年度はコロナ禍の影響でやむなく取りやめになりましたが、今年こそは何とかみんなでいきたいねと、話し合ってきました。しかしいつ緊急事態宣言が出るかもしれないですし、できるだけ中止になるリスクが少ない場所という事で話し合ってきました。

①京都府下で、②温泉があつて、③自動車分乗で短時間で移動できる場所…

ということで、今回は大原を選定しました。近場ですが、電車が通っていないこともあり、訪れたことの無い方も多く、また意外と良い温泉もあります。

1日目三千院は私も初めてでしたが境内はとても広くて見どころ満載でした。半日くらいかけてゆっくり見ても良いぐらいのボリュームで、皆さん思い思いに仏像に手を合わせたり、写真を撮ったり、苔のお庭や、お地蔵さん、歩きながらのおしゃべりを楽しんでおられました。



晩御飯は一同会して松茸と地鶏のすき焼きを頂きました。すき焼き、松茸ご飯に、締めうどん、揚げたて天ぷらにデザート…みんなお腹いっぱいで大満足！！コロナですので基本黙食…のはずが結構楽しくおしゃべりしちゃいましたね(笑)

温泉は岩風呂に檜風呂、露天風呂、雰囲気のあるいいお湯でした！！一瞬で上っちゃう人、ゆっくりつかる人、これでもかというくらい体を洗う人、それぞれ温泉を楽しみました。京都市内にこんな温泉があるなんて、皆さん知らないのでは？

今回はまた、できるだけ密を避けて分散して動きたいという事から、2日目の班を3つに分けて少人数で行動するという工夫もしました。これは初めての試みでした。事前に募集した「サイクリング班」、「草木染め班」、「寺めぐり班」に分かれてそれぞれに楽しみました。波乱？も有りましたが、充実した時間を過ごせた様です。



この、年に一度の旅行を筆頭に、オリーブではレクリエーションを通じた交流や活動をとても大切にしています。そこには仕事を離れた場で、自分らしく、また他者を尊重しながら、人生を楽しむことの大切なヒントと経験があふれているからです。



これからもコロナに負けず、皆さんのこの時だけの笑顔や怒り顔、驚き、思いやりに出会えるこのレクの時間を大切にしていきたいと、日々のお仕事と同じくらい大切にしていきたいと、そう思った一泊二日。オリーブ史上いちばん近場の貴重な大原旅行でした！！(正岡)



それぞれの 旅行の感想

おもしろかった。城越

10月14日、15日大原に行ってきました。お天気にも恵まれて良い気分スタート!!近場で1時間くらいで行けて私は好きです。お昼はお漬物とカマドご飯めっちゃ美味しかった。民宿に着いてお風呂へ久しぶりの温泉!!3回入っちゃいました。晩ご飯、松茸と地鶏のすき焼き、いっぱい食べ過ぎ?!でもしそジュースを飲んだので大丈夫でした。2日目は染物に挑戦!!各々良い感じに仕上がっていたようです。帰りにお土産も買って、ソフトクリームも食べて満足で帰って来られました。育

「新コロ」以来、はじめての一泊なので、近い所でも嬉しいものです。まだ暮れてないのに風呂に入り、タラフク食べ、月夜を楽しみました。グループに何度もはぐれて(なぜ?私だけではないのです)合流。スリルたっぷりでしたね。2日とも好天、暑くもあり汗をかきました。

By elm



旅館の夕食の松茸すき焼きが凄く美味しかったです♪日く付きの寺の説明には驚かされました。お土産に買った紫蘇の振り掛けは家族に好評で美味しかったです。福井



やはり旅行は楽しい。スタッフさんにめんどろをかけてつれていってもらうことはとても感謝しています。普段の生活より離れおいしいものを食べるのはおつ。最後のお腹いっぱい味が分からなくなってきたのですが、お金は神社に全て使いました。お寺巡りも楽しいものです。今ある休そくは神様のおかげで楽すると神様に感謝です。T. N

カメラの交換レンズ10本持っていったのに、使ったのは2本だけ。Mさんや正岡さん、浜内さんとレンズの話ができなくてガックシ。H. M

今回2年ぶりの旅行ということで旅行の前日あまりねられなかったぐらい旅行を楽しみにしていました。温泉に旅行に、温泉やどのさんさくに、草木染めに、一つ一つが思い出になりました。また来年も一泊旅行行きたいです。(Y. K)



今回は近場であったがゆっくり出来て新米の御飯がおいしくて、今まで一泊した旅行で一番沢山おかわりをしました。楽しい旅行でした。ありがとうございました。人生最後のサイクリングになったと思います。最高でした!!

小畑



旅行楽しかったです。平阪



去年はコロナの影響で一泊旅行はなくなり、今年2年ぶりの旅行となりました。今回は近場ということで大原になりました。どこへ行くかも大事ですが、誰とどんな風に行くか、が一番だなとおもえた旅行になりました。

久しぶりに皆で過ごせた事は本当によかったですと感じ、楽しく、ゆったりとした時間が過ごせて嬉しかったです。

また来年も、その先もオリーブの皆と色々な体験を共有できたらいいなと思いました。H. F

一九九一年九月三日第三種郵便物承認 毎月(1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8の日)発行



●先月の11月13日の土曜日、関西よつ葉連絡会さんが毎月第2、第4土曜に開催している滋賀県のブランド大津京の『よつ葉のマーケット』にて、『一日限りの「オリーブホットハウス」秋の物産展』を企画してくださいました。当日は、お子さん連れのご家族が多く来場され、お気に入りマフラーやポーチを選ばれるお母様や石焼き芋を手にとり、葉付きの大きな大根を抱えて歩くお子さんの姿も見られました。久しぶりによつ葉の会員さんにも商品を見ていただけ、よかったです。(畑のスタッフ)



●1年ぶりに無印良品京都山科店さんのつながらる市で販売させていただきました。たくさんの方の地域の方にオリーブの商品を手にとって頂く貴重な機会になりました。感想：久しぶりに縫製品を売り楽しい販売になりました。マフラーやポーチやコインケースなど売れて良かったです。また出店があれば嬉しいです。(Y. K)

スズキの出店販売

西是西胡寺でのこと

四季折々の美しさ、また自然の厳しさを肌に感じながら、醍醐寺では現在5名のメンバーが週に4日の営繕業務、週に3日のトイレ清掃に取り組んでいます。

紅葉が見頃を迎え境内はお参りの方で賑わっています。わたしたちも「ご朱印はどこですか?」「山は今から登っても大丈夫?」などの質問を受けては作業の手をしばし止めるこの頃です。

トイレ清掃班は大忙しですがそのぶん活気を得て、しっかり声をかけ合い集中して作業に励んでいます。時には頑固な汚れと格闘することもあります。職員さんや参拝の方の「いつもきれいにしてくれてありがとう」という言葉で大いにねぎらわれます。

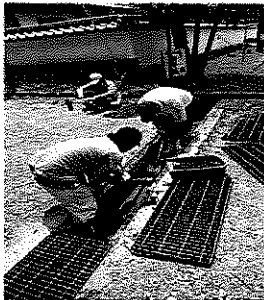
営繕班は、ひっきりなしの落葉を片づけるのにこれまた忙しい季節であることに加え、催しや法要も多くあり、その際は音や埃を立てないよう普段にもまして根気よく作業に励んでいます。

先日、落葉と土を一輪車でこつこつと運ぶわたしたちを見かけた職員さんが、快くダンプを出して下さったことがありました。また、山道の清掃に取り組んだ折、偶然先に登っておられた非番の職員さんが帰り際「とても綺麗にしてあった」とひとこと。以前には厳しいご指摘を頂いていた方で、わたしたちの仕事を常に見守って下さっていることを感じ、自然と頭が下がりました。

草木や花、鳥や虫、人々の生きるいのちを包み込んだ醍醐寺の美しさは、醍醐寺にゆかりの深い人々のつながりと、そのたゆまぬ努力によって守られています。

その暖かいつながりのなかに、わたしたちオリーブのメンバーやスタッフも存在しています。

そのことがわたしたちの心や体を、日々深く養ってくれているものと確信しています。(相馬)



3月までは畑作業をされていたHさんですが、現在は醍醐寺で作業をされています。毎朝オリーブに自転車が止まっているのを見ているメンバーさんが、「H君今日も醍醐寺行ってはるわ」と教えてくれたことがあります。醍醐寺で作業を始め、感じたことを書いてくださいました。

3月から醍醐寺で

定時制高校を卒業し、晴々とした気持ちで就職活動に取り組んだところ、年齢という想像以上に高い壁にぶち当たり、上手くいかなかった。そんな折河原さんに醍醐寺での作業を勧められてやることにした。

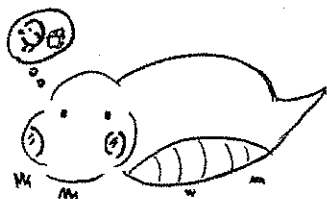
最初は不安だった。腕力や体力の面で、でも20時間の試用期間を経て、営繕作業を希望した。当初はトイレの巡回清掃をみっちりやり、清掃の手順や注意点、コツなどを学んだ。今では3週間に2回位の割合でトイレ清掃に励んでいる。営繕業務の方は落ち葉をブローアールで吹き、ほうきで集めて袋に入れ、一輪車が軽トラで集積場に運んで捨てる。この繰り返した。一番しんどいのは側溝の排水ますにたまった土砂を抄い出し、一輪車で運ぶこと。でも仲間達と交代でやればやれないことはない。最近は軽トラを使うことが多く楽。

醍醐寺で一番楽しいのは昼食時にスタッフの相馬さんを中心に話の輪ができること。でもメンバーのFさんの駄ジャレが多いので、笑ってあげる度量は必要かもしれない。

H. M

新スタッフ紹介

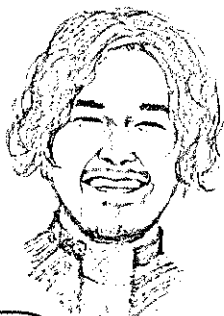
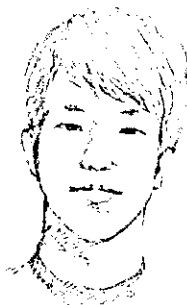
オリーブでは4月から新しいスタッフが3名加わりました。遅れまして初めまして。



2020年7月にアルバイトとして主にサロン業務に従事し、今年4月より稲井さん、直崎さんと共にオリーブに入職しました谷口侑子と申します。兵庫県尼崎市出身、西宮市育ちです。皆様のお役に立てるよう精進して参りますので、宜しくお願い致します。

☆好きなもの色々☆
好きな食べ物: 鶏肉料理、チーズのお菓子、調整豆乳(特にキッコーマン)が好きです。
好きな戦国武将: 島津義弘 好きな花: コスモス
好きな言葉: 災いを転じて福となす

今年度からオリーブホットハウスで職員として働いている直崎大生と申します。出身は鹿児島県の奄美大島で、大学進学を機に京都で生活しています。趣味はランニングやハイキングなど、身体を動かすことです。大学生の頃から実習やアルバイトで、オリーブの皆さんにはお世話になっています。まだまだ職員として未熟ですが、皆さんと共に日々を過ごす中で、少しずつ成長していけたらと思っています。よろしくお願いします。



みなさんこんにちは。私の名前は稲井太一です。神戸市須磨区という海水浴が有名な場所で生まれ育ちました。趣味は格闘技を見ること、マンガを読むことです。人からはよく笑うといわれます。私自身笑うことは好きなので笑顔をいかして働いていきたい思います。まだまだ若輩者ではありますが、どうぞよろしくお願いします。



オリーブの日常 るまんやましな

オリーブでは給食のない日は朝礼で味噌汁を作ってくれる方を募集します。おかわりは1回まで。オリーブの野菜を使い、この時期は大根とお芋の入った味噌汁が定番。たっぷりの具材。栄養満点な味噌汁が飲めるのは皆のことを思って作ってくれる人がいるからですね。また、誰かを思い浮かべ料理をすることは当たり前ではなく、特別な時間なような気がします。いただきます、ごちそうさま。いつもありがとうございます。(はま)

皆さまお変わりありませんか？
ふれあいサロン るまんやましなは変わりなく開店しております。
夏の名物自家製紫蘇ジュースが終わり、暖かい飲み物にほっとする季節になりました。周りのさまざまな環境が変化する中、同じ場所では変わらぬ雰囲気です。来て下さる方をお待ちしています。これからますます寒くなります、お身体ご自愛ください。(Rio)



方世設長のひとこと

「三つの自由」

元京大総長の山極寿一先生が京都新聞の連載に以下のような文章を書かれていました。「人間の社会を運営するには三つの自由を駆使する必要があると私は思う。動く自由、集まる自由、対話する自由である。人間以外の動物にはこの自由がない。私が長年調査してきたゴリラも動く範囲は決まっているし、自分の群れをなかなか離れることができない。言葉を持たないから、伝える情報も限られている。私たちは日々自由に動き回り、さまざまな集まりに顔を出し、言葉を使って対話する。そこに新たな気づきが生まれ、未来へと向かうイメージが湧き、自分の歩む道を修正できる。」コロナ禍で制限された自由を取り戻すといった内容でしたが、精神保健福祉の分野においても大切なことを示唆してくれているように思います。動き、集まり、対話する、作業所の実践そのものです。自由に動き、生理的な欲求が満たされると、安心安全な場所に集い、所属感や承認を求め、そこで対話をすることで生きていく上での様々な情報を交換し、それが明日の生活につながっていき、その積み重ねが自己実現となっていく。その変化は、多少の時間を要するかもしれませんが、これらのことを抑えておくことが、日々の実践の中でとても重要です。

コロナ禍で多くの作業所が、通所を続けてもらうか在宅支援に切り替えるか、閉めるか等々の判断に迫られました。対人援助はリモートでは成立しません。作業所も作業をし、お金を稼ぐだけの役割なら、在宅で仕事をしてもらうことで代替できるのかもしれませんが、私たちが実践していることは、そのみではありません。通所を続けてもらうことで感染のリスクが高まりますが、逆に通所を制限することで再発や孤立のリスクが高まるかもしれません。通う場所があり、そこで何気なく交わされている挨拶や会話、作業を通じた一体感や居心地の良さ、当事者同士だからこそ得られる安心感や自己肯定感等、メンバーにとって、作業所にとって大切なものが何かを考えさせられる機会となりました。そして、そこに携わるスタッフとして何をすべきかを共有できたことは、今後の財産になります。オリブはスタッフそれぞれが志を共にし、開け続けることを選択しました。これが正解だったかは、わかりません。何かを基準に測れるものではありませんが、1人でも通い続ける場所があつて良かったと思ってもらえたのなら、それで良かったのではと思います。

～着物・糸の寄付のお願い～
オリブでは寄付で頂いた着物や糸で、いろいろな製品を作っています。頂いたものが形を変えて、誰かの元へ届くよう、大切にに使わせて頂きます。

編集後記

・いつもありがとうございます。今年ももう少しで一年がすぎさっていきますね。今年もいろいろなことにチャレンジしていい一年にしたいです。(Y.K)

・今年初めて自家製味噌を作りました。猫を抱えて一緒に大豆をふみふみ。時々覗くと変化があります。カビが発生。色が変わってきた。液体が出てきた。甘くなったかも。かわいくて食べたくないな。日々の様々な変化をゆっくりと見守っていきたいものです。(浜内)

オリブだより 2021年12月編集
発行人
関西障害者定期刊行物協会
大阪市天王寺区真田山町2-2
東興ビル4階
編集人
オリブホットハウス
社会福祉法人 オリブの会
京都市山科区東野中井ノ上町3-33
TEL : 075-591-4669
FAX : 075-591-4679
ホームページ <http://olive-net.info/>
フェイスブック
<https://www.facebook.com/olivehothouse/>
メールアドレス
olivecw@rio.odn.ne.jp
定価 50円

いつもありがとうございます。
河村京豆腐店様、今枝文子様、岩村チエ子様、佐藤純様、林紀代美様、大久保様、村田雄樹様、山田輝見子様、長谷川華映様、村上様、奥田様、田中瑠璃子様、仁保千晶様、河原満寿美様、わの会様、(株)大曜様、京都奉製(株)様、ダイゴ様、京都ほっとはあとセンター様、認知症予防ネット様、總本山醍醐寺様、春日丘センター様、泉民生活協同組合やまゆり様、関西よつ葉連絡会様、(株)よつ葉ホームデリパリー京滋様、竹之内運送株式会社様、食まちアグリゲーション様、無印良品京都山科店様、つけもんやいし井様、里地会クリニック様、京都市やまなし学園様、協働ホーム様、びあひとまち様、山科工房様、笑人様、健らいと様、なかよし会様、京都市文化市民局市民スポーツ振興室様、しんやさい京都様、(株)ヤマシナ様、おもてなし処阿吽様、オーガニックマーケットしが実行委員会様、溝口テレビ様、ケアーンドアイ様、京都市ごみ減量推進会議様、大宅学区民生児童委員会協議会様、山科区社会福祉協議会様、大宅学区民生児童委員会協議会様、高齢サポート大宅様、京都市山科青少年活動センター様、カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)様、津乃吉様、東山区社会福祉協議会様、みんなが元氣寺浦サロン様、(株)オージス総研様、(株)朱常分店様
(令三年三月〜令三年十二月順不同)

一九九一年九月三日第三種郵便物承認 毎月(1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8の日)発行